

習ひつゝ 見てこそ習へ 習わずに

善よし悪あしいうは 愚かなりけれ

千 利休

裏面もご覧下さい。

すべての勉強は人から教えられたことをまず習い、人の振りを見て確かめ、さらに自分でやってみて身につけていく。それを人から教えられることなく善悪を言うのは馬鹿なことだ。

千 利休 (せんりのきゅう)

一五二〇〜一五九一年。堺の茶人。十七歳で茶道に志し、長じて信長・秀吉と親交したが、最期は秀吉の怒りに触れ切腹を命じられた。この言葉は茶道の精神を説いたものであるが、世の中の全般の道についても同じ道理が含まれている。何も習いもせずに良いやら悪いやら批評をすることは無駄なことではない。とやかく口で言うよりも、自らの学習と実践がなにより大切なのである。

薔薇の花咲く頃のご参拝、皆さまの願い事はきっと神さまに届きます

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮